身分証明書の統合

ニュースを見ていたら、

国の身分証 269 種を一つに 「検査円滑化」 河野大臣

というのが出ていた。これには更に先があり

「首折れそう」 多すぎる身分証 河野氏と小泉氏が改善

これがまず環境省で

環境省の 45 種類の身分証。これまで温泉法や自然公園法、大気汚染防止法、浄化槽法など各法令に従って身分証が 1 枚ずつ発行され、検査時に身につける必要があった。

というもので、兼務が多い自治体では「なんと愛知県は 25 枚どころか 1 人で 33 枚、こういう方がいたそう。発行の事務作業が大きく軽減されることを非常に喜んでもらった」と胸を張った。

これが各省庁にも統合する話になったようだ。

さてこの中に税関関係はあるか？

税関の場合、もともと税関職員の身分を示す証票等の書式に関する省令で、税関職員が権限を行使する場合の関税法、関税暫定措置法、通関業法、電子情報処理組織による輸出入等関連業務の処理等に関する法律、自家用自動車の一時輸入に関する通関条約の実施に伴う関税法等の特例に関する法律、コンテナに関する通関条約及び国際道路運送手帳による担保の下で行なう貨物の国際運送に関する通関条約（T I R 条約）の実施に伴う関税法等の特例に関する法律、物品の一時輸入のための通関手帳に関する通関条約（A T A 条約）の実施に伴う関税法等の特例に関する法律、国税通則法、輸入品に対する内国消費税の徴収等に関する法律、たばこ事業法、国際連合安全保障理事会決議第千八百七十四号等を踏まえ我が国が実施する貨物検査等に関する特別措置法、経済連携協定に基づく申告原産品に係る情報の提供等に関する法律に基づく検査権限について身分証明書で 12 本の法律をまとめて一つの身分証明書にしている。たしかにこれが 12 種類に分かれているとすると相当面倒である。

ということで税関職員は統合に参加するメリットはなさそうであるが、いまだ紙の証明書なのでこれを機会に IC カード、入れ物も一新し予算はデジタル予算あたりから引き出すというのもありえると思っているがさてどうなるか？